

～父母会ってなんだろう～



西宮市学童保育連絡協議会

はじめに

学童保育の世界へようこそ！

私達は仕事を続けながら子育てを行なう同じ仲間として、学童保育と言う子ども達の「安全、安心」を求めて父母会と言う小集団を組織して、互いに助け合いながらより良い学童保育を目指す仲間です。学童保育は小学校でのPTA、地域での子ども会的な存在であります。その活動内容は大きく異なっています。

幼稚園や保育所に於ける父母会、保護者会はそれぞれの事業自体がしっかりと制度化され、一定の基準を持って行なわれている為、特に父母会や保護者会に於いては幼稚園や保育所が行なう行事への支援的な役割をしたり、独自に子ども達と一緒に楽しく行事を企画、実施することが中心であると思います。しかし、学童保育に於いては制度化されていながらも市町村への実施する義務は明確に記載されておらず、曖昧な制度であると言わざるを得ない状況です。その為、学童保育を維持、向上させる為の取り組みを市町村や都道府県での父母会で組織される連絡協議会等の活動を通して、全国的な規模までの関わりが必要となっています。

なんだか面倒なところだな～って、この段階で感じてしまうのは当然かも知れません。しかし、今、私達が学童保育を利用できるのはその面倒なことを頑張ってきた先輩父母達の活動の結果、こうして学童保育を利用することができるのです。そして、私達は次の世代の働く親達へこの学童保育を引き継ぐ役目も担っていることをご理解してください。

先輩父母達は様々な困難の中、学童保育の重要性を訴え、国としての制度化を求めて奮闘していました。日本の高度経済成長の中、今では当たり前である女性の社会への進出は大きな経済発展にも寄与していましたが、日本の慣習は仕事を辞めて子育てをすることは当然であり、仕事を続けることへの理解が全く得られない状態でした。市町村行政からはその様な慣習を利用して、地域での学童保育への理解を得ることを開設する条件に加えたり、確保が困難な利用場所を探させるなど、仕事を携えている親達への無理難題ばかりを押し付けていました。

今では考えられない苦勞を先輩父母達が頑張り通した結果、市町村での事業として、大きく発展し、そして今、私達が学童保育を何の問題もなく、利用することができるのです。

しかし、学童保育は先に述べた様に幼稚園や保育所とはことなる事業としての位置付けによって、非常に厳しい状況下で行なわれています。その為に私達は学童保育の維持と更なる向上を目指し、取り組み、先輩父母から引き継いだ学童保育を次の世代へと引き継ぐことが大切であり、重要なのです。

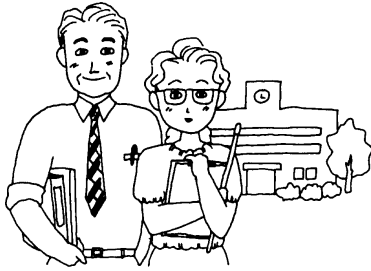
平成23年6月18日
西宮市学童保育連絡協議会
事務局長 松縄 重雄

～ 目 次 ～

1. 父母会ってなんだろう	1 頁
2. 父母会の役割	2 頁
3. 父母会の運営	2 頁
4. 父母会の役員	3 頁
5. 父母会の定例化	3 頁
6. 指導員との繋がり	4 頁
7. 連絡協議会との繋がり	5 頁
おわりに	5 頁

1. 父母会ってなんだろう

PTA



【目的】

米国で誕生し、学校全体ひいてはあらゆる子ども達の利益となる活動を目的としている。日本に於いては戦後、連合軍最高司令官総司令部の提案で半強制的に導入された。

【参加】

参加は自由であるが、実際は強制加入を求められる。

【会費】

義務教育でありながら授業での教材費用をPTAから捻出しているため、強制加入を求められる。

【教師】

教員資格を必要とする。PTA活動が出来る教員は非常に少なく、近年では精神的にも過酷な職業として捕われる職業となっている。

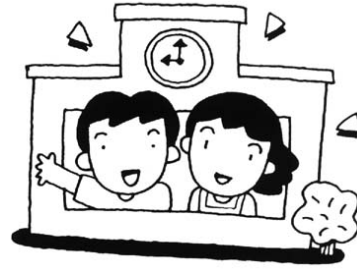
【役員】

小学校在籍中には一度はPTA役員としての参加を求められる。様々な部に分かれ、小学校での活動が中心となる。また、地域としての社会奉仕を求められたり、コーラスやスポーツ競技などで他校のPTAとの交流がある。

【特徴】

保護者の仕事の有無に関らず、強制的な加入で子ども達への支援を行うことをしているが、小学校のみならず、地域や市町村単位での活動への関りを求められる。

父母会



【目的】

働く権利を求め作られた学童保育であるが、子ども達の安全、安心の場としての確立、発展の為に組織される。運営形態によるが父母である保護者によって組織される。

【参加】

自主的な参加を求められる父母会ではあるが、共に仕事を持ちながら働く親としての仲間として、交流を求めている。

【会費】

父母会としての活動費として使われ、用途は様々になる。父母会行事に捻出したりするため、多くの保護者の参加を求めざるを得ない。

【指導員】

保育士とは異なる資質を求められるが専門性を問われる職業である。特に国家資格はないが、様々な知識と体力が求められる。

【役員】

父母会運営の中心的役割を担うが、仕事を持ちながらの活動のため、父母会全員での協力が求められる。父母会行事を行なうだけでなく、学童保育の維持、向上のための取り組みも行う。

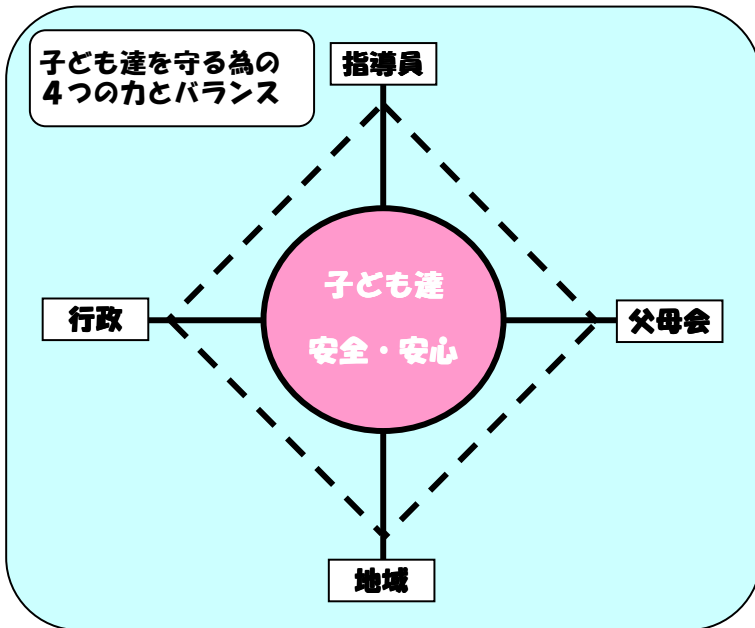
【特徴】

保護者の自主性を求められ、行事への取り組みや様々な問題に対して、一緒になって考え、行動することが求められる。

PTAや父母会活動に於いては共に我が子のためにと保護者である私達、大人がしっかりとサポートする体制を整えなければならない共通点はあるものの、保護者の自主性に委ねられてしまう点が大いなのが父母会となります。

父母会の根底にある面は同じ労働者として共に子育てに取り組む仲間であると言う点で、相互に助け合う為の「絆」が重要であると言う点です。互いの損得勘定だけでは決して得る事の出来ないものを父母会で見つけ出す事が重要であり、協力し合うことで学童保育の子ども達の安全・安心を得ることが我が子への安全・安心な保育の場を提供することとなり、労働者としての私たちの働く権利を守ることに繋がっているのです。

2. 父母会の役割



私達の根底にあるのは「働く権利」を守ること。その為にも私達の子どもに対して、「安全・安心できる場」をしっかりと確保することが重要です。

学童保育は「行政」「地域」「指導員」「父母会」の4つのバランスのとれた力によって守られるものです。一つでも欠けたり、弱くなってしまったら中心にいる子ども達を守ることが出来なくなります。ひとりの保護者としてではなく、父母会として、同じ仲間が集うことでより大きな力となって、はじめて子ども達の安全・安心した場が作れるのです。



3. 父母会の運営

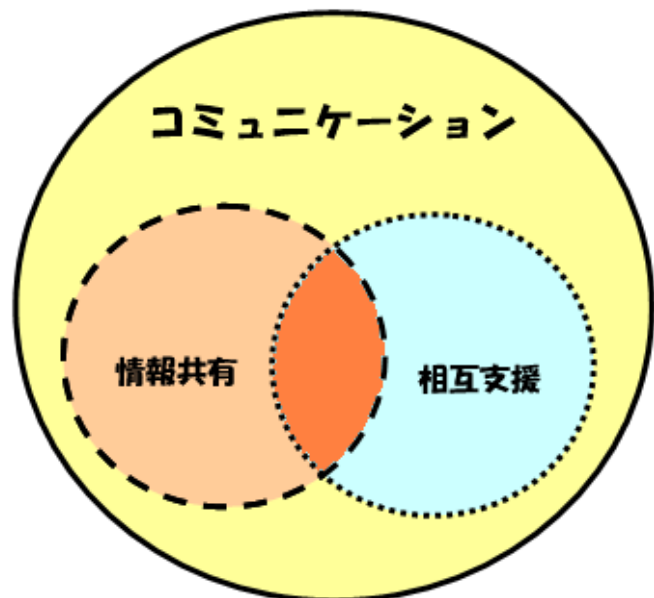
私達にとって、父母会は非常に重要な小集団なのですが、集団や組織として、維持させる為にはどうしても役員として、父母会の運営を補佐する方々が必要になります。日頃から仕事や家庭でのことが忙しい父母会での役員は、とこの足を踏んでしまいそうですが、父母会の重要性を考えるとやはり無視できるものではありません。どうも役員と言う肩書きが付いてしまうと全力でしなければと頑張り過ぎる方々が多すぎます。

父母会の役割として、コミュニケーションが取れていれば協力者が増え、楽しく父母会を運営することができます。考えている以上に面倒はないのです。問題はコミュニケーションが不足してしまっている場合なのです。

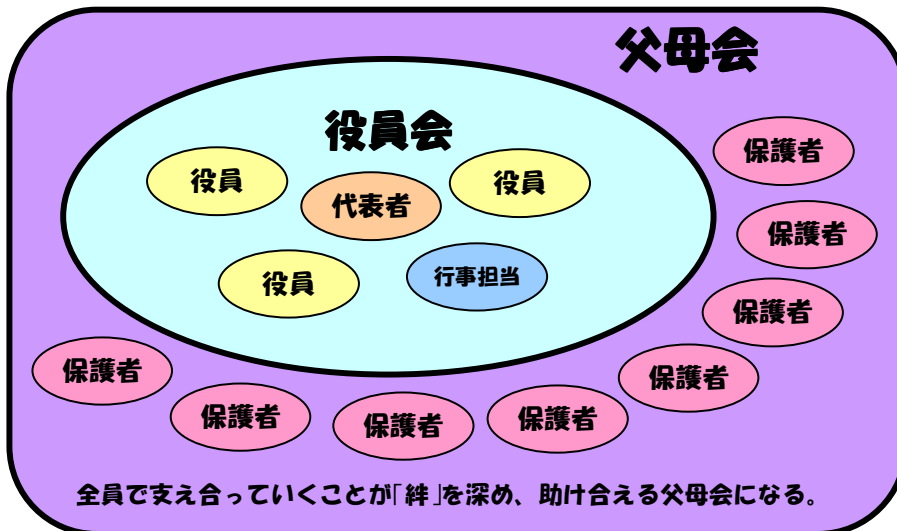
これらは個人的な意識を変えなければ難しい面がありますが、決して、無理をしてまでも取り組まなければならない訳ではありません。父母会での自然な活動をひとりずつ、広める為に父母会への優位性を伝えることだけでよいのです。

大切なことを学び、子育てと共に親として育つ場所であることを理解してもらうことだけなのです。

父母会として子ども達と一緒に楽しむ行事を企画する場合があります。煩わしい、面倒だ。と感じさせる理由の一つとして挙げられます。行事に関してはどれ程のメンバが参加するのか、又、参加人数にあった場所や移動手段、安全を配慮した保険の有無。当日では移動の度に確認。面倒なことだらけです。しかし、行事が終わったあとの充実感は準備の時の苦勞を忘れさせてくれます。父母達は様々な業種に携わり、趣味や得意分野も多岐に渡っています。これら父母達の能力を有効に引き出すことでも父母会の運営は大きく変化し、より一層、父母会を楽しむことが出来るのです。



4. 父母会の役員



私達は社会の中でたった一人で生活をしている訳ではなく、様々な人との繋がりがあって生活をしています。その為にもコミュニケーションを図るのは非常に大切なことであり、父母会はその場所を提供しているのです。父母会への参加を行うことで我が子の様子を知る機会にも恵まれ、地域的な情報、中々伝わり難い行政の動向を知ることができます。また、コミュニケーションによって、助け合う支援の輪が広がり、持ちつ持たれつの相互支援が行えるのです。煩わしい。面倒だ。と言う考えは仕事や家庭を中心に生活を行っていた方々にとっては当然の結果だと思えます。

父母会に集う保護者全員が属する父母会で役員なのだと言う意識が必要なのです。

コミュニケーションによって、煩わしさや面倒なことが楽しさや面白さへと変化するのです。その結果として、子ども達全体について話しが出来、間接的であれ、我が子へとその頑張った分の得た喜びが返ってくるのです。

役員としては会の運営をスムーズに行なう為には歴代の役員達が残した資料を参考に同じことをしなければと思われる方が多く、非常に無理な活動へと繋がってしまう恐れがあります。基本的には出来ること、出来ないことを早く判断して、他の役員達へ早期に相談をするなどし、年度毎の役員メンバで活動し易い運営を如何に見つけだすかに掛かっています。結局は出来ることをするだけなのです。父母会に於いて、恒例となっている行事などは子ども達が楽しみにしていることもあり、外せない行事だと思えますが、残されている資料を基にアレンジをすることで恒例行事も新鮮さを得ることも出来るのです。

父母会役員としてどの様な手段、方法に関らず役員として父母会に関ることとなった方々へのお願いとしては賛成反対などの意見はしっかりと受け止めることをして頂きたい。確かに厄介なことを抱えてしまう結果になってしまうかも知れないが、一方的な思惑だけで父母会を運営することはマイナス要因でしかありません。役員でない方々は父母会での役員達をフォローすることを意識してください。全員が父母会での役員であると言う意識を持つことが重要なのです。



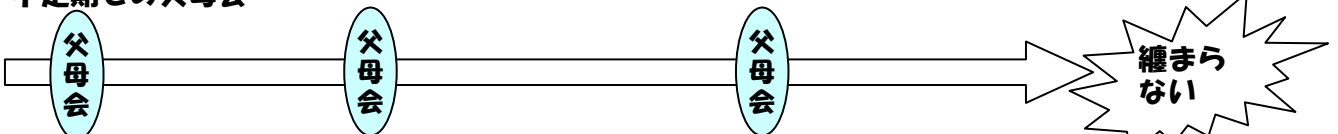
5. 父母会の定例化

父母会定例化



継続した議題について取り組めることが出来、短期間での問題解決が行える。また、保護者同士のコミュニケーションが深まることで、より一層、楽しい父母会へと発展していく。

不定期での父母会



前回、どこまで話をしていたのかを確認しつつ、中々、話が纏まらない。遅くまで時間を使っても結論が出ない。保護者同士でのコミュニケーションも築けない状態になる。

父母会での運営を如何にスムーズに行うか。一つの課題として、はじめに突き当たる問題です。出来れば父母会は和やかな雰囲気の中、スムーズに行いたいと願うのは皆同じだと思います。これらの課題は父母会を定期的に開催することで自然と運営が行なえることが出来るのです。結局は私達の相互の理解不足によって、

話しをしても十二を言いたいのかも判らない。
十二を言っているのかが理解できない。

とされることから静寂した会合となり、父母会の運営が非常に難しくなってしまうのです。

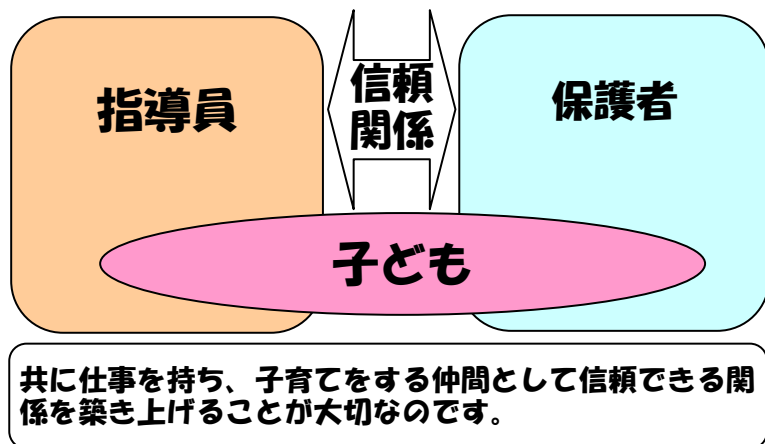
新一年生の父母にとっては幼稚園での保護者会や保育所での父母会と異なる話しが突然にはまりじまり、いったいナンのことを言っているのだろうと拒絶反応を示してしまうことから、我が子の為にも父母会で頑張らねばと思っても、結果的に判らないから十二を話せばよいのか、十二をすればよいのかが判らず、父母会から遠のいてしまう結果となるのです。父母会を定例化することが重要で効果としては下記の点があります。

- 1) 定例化することで事前に仕事や家庭でのスケジュール調整が出来る
- 2) 父母同士のコミュニケーションを早期に得ることが出来る
- 3) 継続した話題について話し合うことが出来、早期に問題等の解決へ繋がる
- 4) 学童保育での我が子でも知らない側面を知る機会が得られる

父母会の定例化の話題の一つにそれぞれの仕事や趣味についてはしっかりとリサーチしてください。父母会で行う行事や連絡協議会での行事に於いて得意とする内容があり、大きな戦力となってもらえる父母は必ずいます。十二もないと言う方でもインターネットから情報を入手することが得意とする方もいるかも知れません。それだけでも十分な学童保育への関りであり、父母会への関りとなるのです。

そして、何よりも大切な話題として、子ども達の話をする事で家庭では見れない我が子の新しい側面をしり、成長している過程を知る事ができるのです。

6. 指導員との繋がり

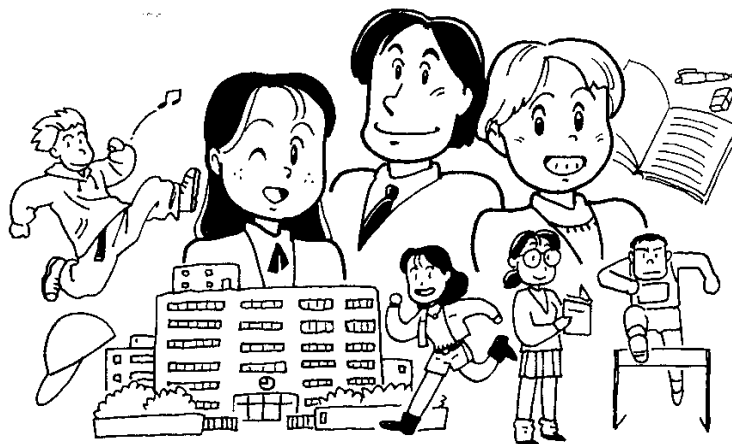


学童保育に於いて最も子ども達についての情報を持つのが指導員です。指導員は単にサービス提供側の人間であり、学童保育を利用する為に育成料を支払っているのだから、子ども達をしっかりと見てもらうのが当たり前だ。と思っている方々も多い筈です。「ただいま」「おかえり」と子ども達を学童保育に迎え入れてくれるのは指導員です。指導員は私達が昼間、安心して働ける為に子ども達の安全、安心をしっかりと守ってくれる「おとあさん」「おかあさん」なのです。また、指導員と言う仕事を持つ親でもあるのです。子ども達が学童保育を楽しみにして、通ってくれることが私達の働く権利を守ること

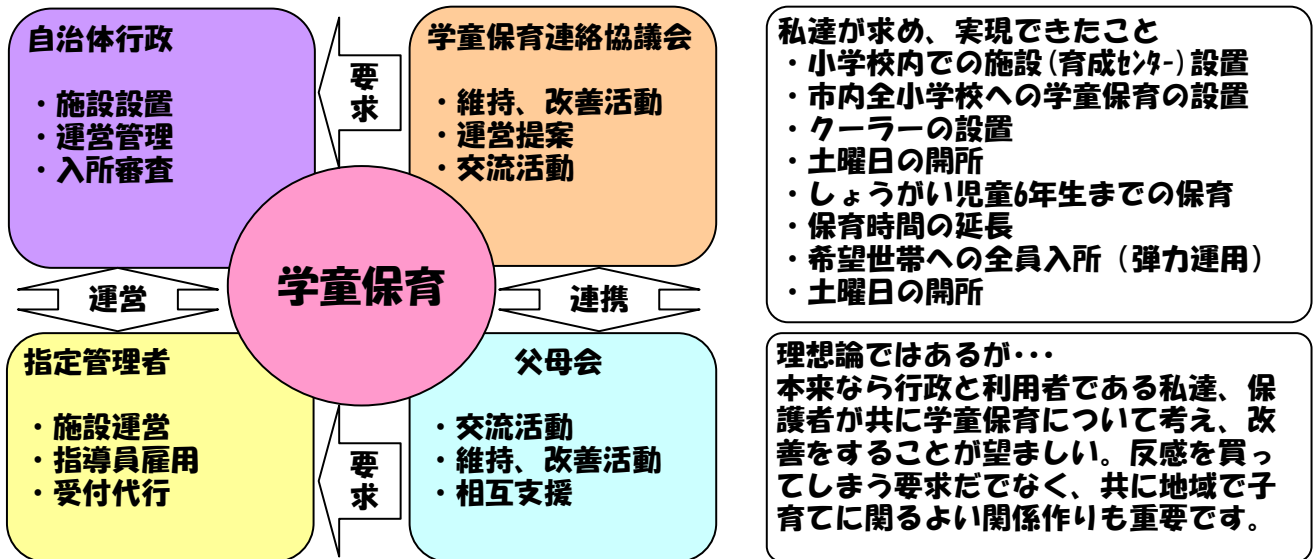
が出来、安心して仕事ができる環境を守ってくれる言わば、パートナーとして、私達は接することをしなければならぬのです。

私達の父母会に指導員の方々の参加が可能であるならば、是非、声を掛けて、父母会への参加を頼んでみては如何でしょうか。きっと私達が知らない子ども達の新しい一面を知り、元気に成長している我が子を知ることが出来ます。

学童保育に関ることが出来た私達は子育ての中で力強いパートナーがいることが大きな力となって、安心して子育ても出来るのだと言う自信にも繋がるのです。



7. 連絡協議会との繋がり



父母会での活動する中で行政としての動向を知ることとも可能であるとは思いますが連絡協議会からも学童保育に関する行政の動きや都道府県、全国での動向についての情報の提供を得ることが出来ます。これらは間接的であれ、制度の悪化などがあると私達の子どもの安全、安心の学童保育から一転して、私達の働く権利までもが危ぶまれる事態を招きかねない状態へと変化を許してしまうかも知れません。連絡協議会としては子ども達の安全、安心できる学童保育を維持、向上と指導員の雇用改善を求めた活動を中心に行っています。父母会への支援と幅広く活動しているのです。父母会として、連絡協議会への参加は間接的な取り組みではありますが、結果的に私達の働く権利を守る活動に繋がっていくのです。

連絡協議会での事務局メンバも同じ仕事を持つ親であり、父母会の活動を行いつつ、頑張っている親なのです。唯一、父母会と異なる点はOB、OG父母が事務局として参加している点です。OB、OG役員は経験や都道府県での連絡協議会、全国連協などとの繋がりを持ち、様々な観点からアドバイスをを行い支援をしています。しかし、現実的な視点はやはり、現役父母達の声が必要であり、今の父母達が求めている学童保育にする為にも一人でも多くの現役父母が連絡協議会へ関わりを持って頂く必要があります。

共に協力し合い、助け合っていくことは父母会と同じであり、一人ひとりが「十二が出来るのか」と考えて行動することによって、より良い学童保育へと発展させることが可能になると考えます。

地域に根ざした父母会を更に市町村単位、都道府県単位での父母会としての位置付けとして捉えて頂ければと考えます。

おわりに

学童保育に於ける父母会のあり方についての記載をしなければと考えたのですが、それぞれの父母会には個性があり、一つの拘った型に収まるものではありません。一人ひとりの保護者が楽しいと感じる父母会づくりをして貰うことが一番よい結果を招くのです。はじめて学童保育を利用する世帯の方々に取っては異質な世界として映っているのかも知れませんが、大筋として、学童保育での父母会ってこんなことをしているのだ。と知るだけでも父母会への参加が少しでも気楽にして頂ければと思い作成しました。その時々々の活動は大変かも知れませんが、後になってからの充実感や辛さを楽しさへと変化します。子ども達と同じ様に学童保育を楽しんでもらえることが私達が望む学童保育へと一歩ずつ進めることへ繋がっていくのです。

父母会活動に於いて、仕事での考え方を持ち込んでしまう方々もいますが、父母会は仕事ではありません。一般的には父母会での仲間と一緒に楽しむことを考える発想の転換が必要です。その為には仕事で身に付けた個人の特技を活かす活動を行うだけです。

まずは「子ども達と一緒に楽しむ」ってことから始めるのが一番なのです。



西宮市学童保育連絡協議会